

高松の歴史と地域素材の表現



高松城下図屏風（陶板）



讃岐のり染めのフロア案内サイン



瀬戸内の多島美をイメージした中庭



漆塗り総合サイン、県産杉ルーバー天井、庵治石テラゾ壁によるエントランスホール



中央公園上空からの全景

高松市防災合同庁舎 危機管理センター

建築概要

■防災合同庁舎（危機管理センター）

敷地面積 : 11,599.79 m²
(うち既存庁舎を除く増築部分
は 4,958.96 m²)

建築面積 : 1,738.24 m²
延床面積 : 11,501.53 m²
構造規模 : 鉄骨造一部 CFT 造 基礎免震
構造、場所打ちコンクリート
杭、地上 8 階建て

最高高さ : 39.95m
電気設備 : 高圧受電 3,000kVA (2 変電
所受電)、自家発電設備
1,000kVA (重油 72 時間運
転)、蓄電池設備、太陽光発電
設備 20kW

給排水設備 : 受水槽 (上水 9 m³、中水 3 m³)
+ 加圧給水方式、緊急汚水槽・
雑用水槽 (地下ピット)

空調設備 : 空冷ヒートポンプ式ビル用マル
チエアコン (EHP)、ガスヒート
ポンプエアコン (GHP)、
床輻射空調

昇降機設備 : 13 人乗 (900kg) × 2 基、
24 人乗 (1,600kg) × 1 基、
11 人乗 (750kg) × 1 基
(公用車駐車場)

その他設備 : 耐震性貯水槽 (100t)、
太陽光集光装置 4 基

■公用車駐車場

建築面積 : 1,426.76 m²
延床面積 : 6,400.07 m²
構造規模 : 鉄骨造、コンクリート既成杭、
地下 1 階地上 4 階建て

最高高さ : 18.52m
駐車台数 : 203 台

■障がい者等駐車場

建築面積 : 86.53 m²
延床面積 : 86.53 m²
構造規模 : 鉄骨造 地上 1 階建て
最高高さ : 3.36m
駐車台数 : 4 台

■設計・施工概要

基本設計 : 平成 25 年 1 月~平成 25 年 8 月
実施設計 : 平成 25 年 10 月~平成 26 年 11 月
工期 : 平成 27 年 3 月~平成 30 年 2 月

設計・監理

佐藤総合計画・タカネ設計共同企業体

建築工事

大成・四 E 特定建設工事共同企業体

電気設備工事

四電工・松井電機特定建設工事共同企業体

機械設備工事

徳寿・雉鳥特定建設工事共同企業体

<MEMO>



太陽光発電 (20kw)
自立運転にも対応



自家発電設備 (1000kVA)
72 時間運転が可能



免震ピット

〒760-8571 香川県高松市番町一丁目 8 番 15 号
電話 : 087-839-2011 (代表)
<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/>



高松市



エントランスホール

機能性と快適性を両立した執務空間

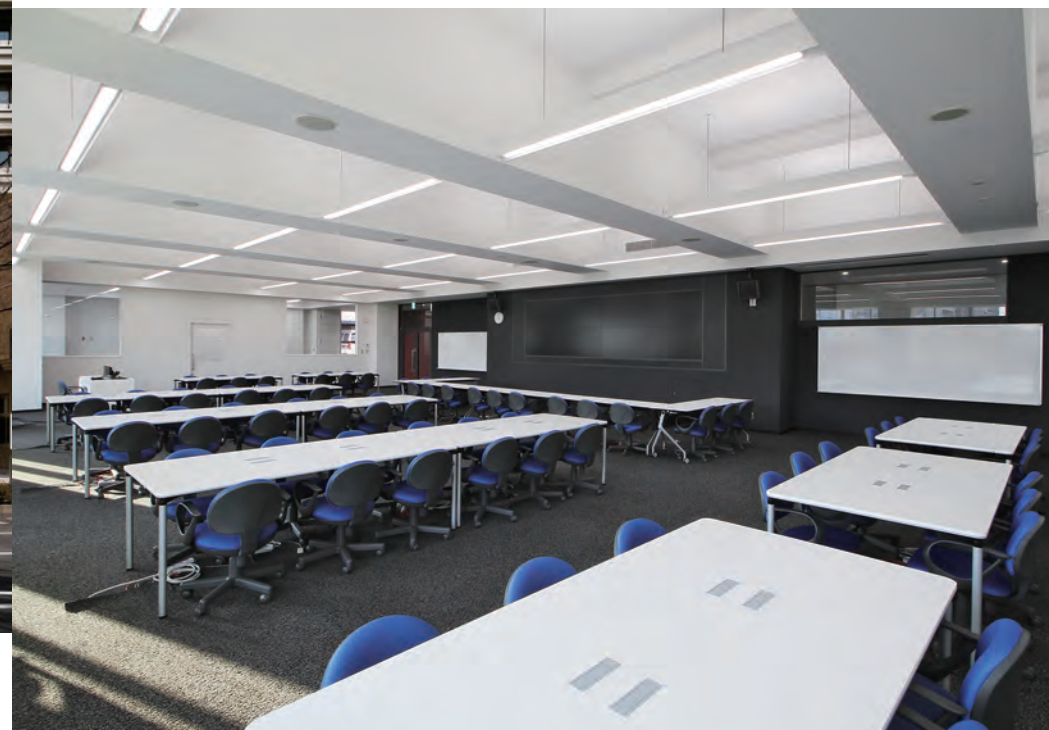
南北にロングスパンの執務室を確保し、中央に中庭を設けてエレベーターや階段コアの視認性・回遊性を高めるとともに、すべての執務室の採光・通風条件を最大限確保しました。



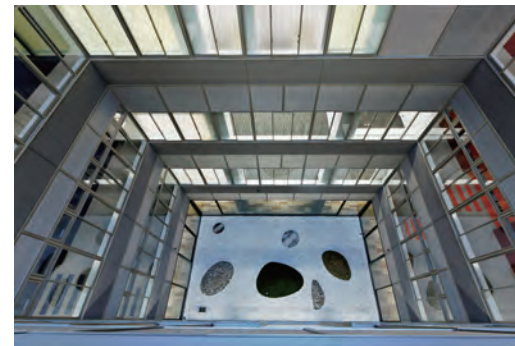
基準階平面



床輻射空調と照明バーにより天井高さとも明るさ感を確保し耐震安全性にも優れた執務室天井



災害対策本部室



基準階の廊下は中庭に面して色彩とパターンで視認性が高くわかりやすい計画

あらゆる災害に24時間体制で対応する建築

高松市防災合同庁舎（危機管理センター）は、様々な自然災害や緊急事態の発生時において、本市の防災・危機管理に係る対応力と業務維持能力を高め、災害等に迅速・効果的に対応できる体制を構築し、市民への災害情報の伝達と避難体制を確立する「安全・安心のまちづくり」の中核施設です。

常設の災害対策本部室のほか、危機管理課や消防局、香川県広域水道企業団等を配置し、これらが密接に連携することにより、24時間体制で適切な災害対応を行います。



配置図



指令管制室（消防局）

災害に備えた設備計画

2回線受電や電源車の接続対応、既存庁舎の発電機オイルタンクからの燃料の補給、耐震性の高い中圧ガス管によるガス引込、再生水の利用及び免震ピット地下を利用した雑用水槽、緊急汚水槽の設置など、設備の多重化を行い、大規模災害時にも業務が継続できるよう備えています。

